

赤字：設備，運用又は体制の相違点（設計方針の相違）
 緑字：記載表現，設備名称の相違（実質的な相違なし）
 ■■■■：前回提出時からの変更箇所

先行審査プラントの記載との比較表（補足-200-14 可搬型重大事故等対処設備の保管場所及びアクセスルートについて）

柏崎刈羽原子力発電所第7号機	《参考》東海第二発電所	女川原子力発電所第2号機	備考
(KK7 補足-021) 資料2 可搬型重大事故等対処設備の保管場所及びアクセスルート 目次 1. 荒浜側高台保管場所に対する500kV南新潟幹線 No.1送電鉄塔及びNo.2送電鉄塔の影響評価について 1.1 概要 1.2 評価方法及び評価結果 1.2.1 送電鉄塔敷地周辺における地盤変状の影響について 1.2.2 送電線の影響について	補足-40-7 【可搬型重大事故等対処設備の保管場所及びアクセスルート】 目次	補足-200-14 可搬型重大事故等対処設備の保管場所及びアクセスルートについて 目次	記載表現の相違 記載方針の相違（女川は鉄塔の評価について「6. 保管場所及び屋外アクセスルート周辺構造物の耐震性評価について」に記載）
2. 斜面崩壊後の堆積土砂の設定における考え方について 2.1 概要 2.2 斜面の崩壊形状及び到達範囲	5. 斜面崩壊後の土砂堆積の設定における考え方について		斜面評価方針の相違（女川は解析にて斜面の評価を行う事を基本としている）
	12. 保管場所及びアクセスルートの評価対象斜面の抽出について 12.1 保管場所の評価対象斜面の抽出について 12.2 アクセスルートの評価対象斜面の抽出について	2. 保管場所及び屋外アクセスルートの評価対象斜面の抽出について 2.1 敷地内斜面の抽出 2.2 周辺斜面の選定根拠 2.3 敷地下斜面の選定根拠 2.4 斜面からの離隔距離の考え方	斜面評価方針の相違（女川は保管場所及び屋外アクセスルートにおいて，所定の離隔を確保できない周辺斜面及び敷地下斜面を抽出し，解析にて斜面の評価を行う事を基本としている）
3. 保管場所の敷地下斜面のすべりに対する影響評価について 3.1 概要 3.2 基本方針 3.3 評価方法 3.4 評価結果	13. 使用済燃料乾式貯蔵建屋の西側斜面の安定性評価について 13.1 評価方法 13.2 評価断面の抽出 13.3 安定性確認 13.4 評価基準値の設定 13.5 評価結果	3. 保管場所及び屋外アクセスルートに関する斜面の安定性評価について 3.1 安定性評価の方法 3.2 保管場所における周辺斜面の崩壊及び敷地下斜面のすべり 3.2.1 保管場所における周辺斜面の崩壊 3.2.2 保管場所における敷地下斜面のすべり 3.3 屋外アクセスルートにおける周辺斜面の崩壊及び敷地下斜面のすべり 3.3.1 屋外アクセスルートにおける周辺斜面の崩壊 3.3.2 屋外アクセスルートにおける敷地下斜面のすべり 3.4 斜面評価に係る補足説明	記載表現の相違 斜面評価方針の相違（女川は解析にて斜面の評価を行う事を基本としており，解析にて評価を行う場合は，二次元有限要素法解析又は静的震度を用いた分割法を使用している）

赤字：設備、運用又は体制の相違点（設計方針の相違）

緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

黄色：前回提出時からの変更箇所

2021年7月27日

02-補-E-01-0009_改1

先行審査プラントの記載との比較表（補足-200-14 可搬型重大事故等対処設備の保管場所及びアクセスルートについて）

柏崎刈羽原子力発電所第7号機	《参考》東海第二発電所	女川原子力発電所第2号機	備考
<p>4. 液状化及び揺すり込みによる沈下量の算定方法について</p> <p>4.1 概要</p> <p>4.2 沈下量の算定方針</p> <p>4.3 液状化による沈下量の算定方法</p> <p>4.4 揺すり込みによる沈下量の算定</p> <p>4.5 不等沈下量及び傾斜量の算定方法</p>	<p>11. 相対密度の設定について</p> <p>11.1 敷地の地質・地質構造</p> <p>11.2 保管場所及びアクセスルートの相対密度の設定</p> <p>11.3 相対密度の場所的变化の確認</p>	<p>7. 屋外アクセスルートの段差及び傾斜評価に用いる沈下率の設定方法について</p> <p>7.1 概要</p> <p>7.2 2011年東北地方太平洋沖地震における女川原子力発電所の沈下実績の整理</p> <p>7.3 2011年東北地方太平洋沖地震における女川原子力発電所の沈下要因</p> <p>7.4 屋外アクセスルートの段差及び傾斜評価に用いる沈下率の設定方法</p> <p>7.5 屋外アクセスルートの段差及び傾斜評価に用いる沈下率</p>	<p>記載表現の相違</p> <p>液状化及び揺すり込みによる不等沈下・傾斜評価における沈下率設定方針の相違</p>
<p>5. 保管場所における液状化及び揺すり込みによる不等沈下・傾斜、液状化に伴う浮上りによる影響評価について</p> <p>5.1 概要</p> <p>5.2 液状化及び揺すり込みによる不等沈下・傾斜</p> <p>5.3 液状化に伴う浮上り</p>	<p>2. 保管場所における不等沈下について</p> <p>2.1 評価方法</p> <p>2.2 評価結果</p>		<p>保管場所の設置地盤における相違（女川の保管場所の設置地盤は岩盤等であり、液状化及び揺すり込みによる不等沈下・傾斜、液状化による浮上りは発生しない）</p>
<p>6. 保管場所における地盤支持力評価について</p> <p>6.1 概要</p> <p>6.2 評価方法</p> <p>6.3 評価結果</p>	<p>3. 保管場所の路面補強について</p> <p>3.1 保管場所（保管エリア）の路面補強の概要</p> <p>3.2 鉄筋コンクリート床版の設計</p> <p>3.3 鉄筋コンクリート床版の液状化に伴う不等沈下低減対策</p> <p>3.4 鉄筋コンクリート床版の仕様</p> <p>4. 保管場所における可搬型重大事故等対処設備の重量について</p>	<p>4. 保管場所における地盤支持力評価について</p> <p>4.1 概要</p> <p>4.2 保管場所の構造</p> <p>4.3 評価方法</p> <p>4.4 評価結果</p>	<p>記載表現の相違</p>
<p>7. 保管場所及び屋外アクセスルート近傍の障害となり得る構造物と影響評価について</p> <p>7.1 保管場所及び屋外アクセスルート近傍の構造物の抽出</p> <p>7.2 構造物の倒壊による保管場所及び屋外アクセスルートへの影響範囲の評価方法</p> <p>7.3 構造物の倒壊による保管場所及び屋外アクセスルートへの影響評価結果</p>		<p>5. 保管場所及び屋外アクセスルート近傍の障害となり得る構造物と影響評価について</p> <p>5.1 保管場所及び屋外アクセスルート近傍の構造物の抽出</p> <p>5.2 構造物の倒壊による保管場所及び屋外アクセスルートへの影響範囲の評価方法</p> <p>5.3 構造物の倒壊による保管場所及び屋外アクセスルートへの影響評価結果</p>	

赤字：設備、運用又は体制の相違点（設計方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）
 ■■■■：前回提出時からの変更箇所

先行審査プラントの記載との比較表（補足-200-14 可搬型重大事故等対処設備の保管場所及びアクセスルートについて）

柏崎刈羽原子力発電所第7号機	《参考》東海第二発電所	女川原子力発電所第2号機	備考
8. 保管場所及び屋外アクセスルート周辺構造物の耐震性評価について	7. 屋外アクセスルート周辺建屋及び機器の耐震性評価について	6. 保管場所及び屋外アクセスルート周辺構造物の耐震性評価について 6.1 他資料において耐震性を確認している周辺構造物 6.2 機器の耐震性評価 6.2.1 第3号機軽油タンクの耐震性評価 6.2.2 松島幹線 No.1 送電鉄塔の耐震性評価 6.2.3 松島幹線 No.1 送電鉄塔基礎の耐震性評価 6.2.4 斜面の安定性への影響確認 6.3 建屋の耐震性評価 6.3.1 第1号機原子炉建屋の耐震性評価 6.3.2 第1号機廃棄物処理建屋の耐震性評価 6.3.3 第3号機原子炉建屋の耐震性評価 6.3.4 第3号機サービス建屋の耐震性評価 6.3.5 第3号機タービン建屋の耐震性評価 6.3.6 事務本館／事務別館の耐震性評価 6.3.7 事務建屋の耐震性評価 6.3.8 保修センターの耐震性評価 6.4 各建屋外装材の被害想定について 6.4.1 評価方針 6.4.2 評価結果	耐震性評価対象周辺構造物の相違
9. 屋外アクセスルートの段差緩和対策について 9.1 液状化及び揺すり込みによる不等沈下、側方流動、液状化に伴う浮上り 9.2 地中埋設構造物の損壊 9.3 段差緩和対策（不等沈下対策等）の整理 9.4 段差緩和対策（不等沈下対策等）の設計 9.5 車両通行性能の検証	9. アクセスルートの段差対策について	8. 屋外アクセスルートの段差緩和対策について 8.1 液状化及び揺すり込みによる不等沈下・傾斜 8.2 液状化による側方流動 8.3 液状化に伴う浮上り 8.4 地中埋設構造物の損壊 8.5 段差緩和対策（不等沈下対策等）の整理 8.6 段差緩和対策（不等沈下対策等）の設計 8.7 車両通行性能の検証	記載表現の相違 記載方針の相違 液状化に伴う浮上りにおける評価方針の相違 （評価において、過剰間隙水圧比を考慮している） 段差緩和対策方針の相違

赤字：設備、運用又は体制の相違点（設計方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）
 ■■■■：前回提出時からの変更箇所

先ん審査プラントの記載との比較表（補足-200-14 可搬型重大事故等対処設備の保管場所及びアクセスルートについて）

柏崎刈羽原子力発電所第7号機	《参考》東海第二発電所	女川原子力発電所第2号機	備考
	10. 地下水位について 10.1 敷地内の地下水位観測データ 10.2 防潮堤を考慮した地下水位の設定	9. 保管場所及び屋外アクセスルートの評価における地下水位の設定方法について 9.1 設計用地下水位の設定方法 9.1.1 設計用地下水位の設定方針 9.1.2 屋外アクセスルート（O.P. 14.8m 盤）の水位設定に係る補足事項 9.1.3 斜面の水位設定に係る補足事項 9.2 設計用地下水位の設定結果 9.2.1 保管場所 9.2.2 屋外アクセスルート 9.2.3 斜面 9.3 斜面の設計用地下水位の保守性に係る検証 9.3.1 解析水位の保守性（平常時水位との比較） 9.3.2 降雨に対する余裕 9.3.3 盛土の透水係数のばらつきによる影響	地下水位設定方針の相違
10. 屋外アクセスルートの側方流動評価について 10.1 概要 10.2 解析方法 10.3 入力地震動 10.4 解析モデル及び諸元 10.5 評価結果			記載方針の相違 （女川は屋外アクセスルートの側方流動評価について「8. 屋外アクセスルートの段差緩和対策について」に記載）
11. 土砂撤去時のホイールローダ作業量及び建屋直近の段差の仮復旧時間について 11.1 土砂撤去時のホイールローダ作業量について 11.2 建屋直近の地盤沈下に伴う段差の仮復旧時間について	6. がれき撤去時のホイールローダ作業量及び復旧時間について 6.1 作業体制 6.2 ホイールローダ仕様 6.3 がれき撤去速度の算出	10. 屋外アクセスルート仮復旧時間の評価について 10.1 段差発生箇所の仮復旧時間の評価 10.2 がれき発生箇所の仮復旧時間の評価 10.2.1 仮復旧時間の評価箇所 10.2.2 仮復旧の方法 10.2.3 仮復旧時間の評価 10.2.4 被害が重畳した場合の仮復旧時間評価	表現の相違 仮復旧作業の対応方法の相違（女川はアクセスルートの段差復旧作業とがれき撤去作業）

赤字：設備、運用又は体制の相違点（設計方針の相違）

緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

：前回提出時からの変更箇所

2021年7月27日

02-補-E-01-0009_改1

先行審査プラントの記載との比較表（補足-200-14 可搬型重大事故等対処設備の保管場所及びアクセスルートについて）

柏崎刈羽原子力発電所第7号機	《参考》東海第二発電所	女川原子力発電所第2号機	備考
12. 仮復旧作業の検証について 12.1 斜面崩壊により発生する堆積土砂の撤去 12.2 車両走行性能の検証	8. 構造物損壊により発生するがれき及び崩壊土砂の撤去について	11. 屋外アクセスルート仮復旧作業の検証について 11.1 段差解消作業 11.1.1 検証方法 11.1.2 検証項目 11.1.3 検証結果 11.2 がれき撤去作業（ブルドーザ） 11.2.1 検証方法 11.2.2 測定結果 11.2.3 検証結果 11.3 がれき撤去作業（バックホウ） 11.3.1 屋根切断時間 11.3.2 電線及び鋼材切断時間 11.3.3 建屋構造材切断時間 11.3.4 がれき撤去時間	表現の相違 仮復旧作業の対応方法の相違（女川はアクセスルートの段差復旧作業とがれき撤去作業）
13. 仮復旧作業の成立性について 13.1 仮復旧作業の成立性について		12. 仮復旧作業の成立性について 12.1 仮復旧作業の成立性について	
14. 屋内アクセスルートの設定について 14.1 屋内アクセスルート設定における考慮事項 14.2 屋内アクセスルートの成立性 14.3 屋外アクセスルートとの関係		13. 屋内アクセスルートの設定について 13.1 屋内アクセスルート設定における考慮事項 13.2 屋内アクセスルートの成立性 13.3 屋外アクセスルートとの関係	
15. 屋内アクセスルート確保のための対策について 15.1 屋内アクセスルート上の機器等の転倒防止対策確認結果 15.2 屋内アクセスルートにおける資機材設備の転倒等による影響について	14. 屋内外アクセスルート確保のための対策について	14. 屋内アクセスルート確保のための対策について 14.1 屋内アクセスルート上の機器等の転倒防止処置確認結果	資機材設備の転倒等における方針の相違（女川は転倒した場合でも通行可能な通路幅、迂回又は乗越えが可能）
16. 可搬型重大事故等対処設備の保管場所について	1. 可搬型重大事故等対処設備の保管場所について	1. 可搬型重大事故等対処設備の保管場所について	

赤字：設備、運用又は体制の相違点（設計方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）
 ■■■■：前回提出時からの変更箇所

先行審査プラントの記載との比較表（補足-200-14 可搬型重大事故等対処設備の保管場所及びアクセスルートについて）

柏崎刈羽原子力発電所第7号機	《参考》東海第二発電所	女川原子力発電所第2号機	備考
17. 森林火災時における屋外アクセスルートへの影響について	16. 森林火災時における保管場所及びアクセスルートへの影響について 16.1 森林火災による影響 16.2 防火帯内における保管場所等周辺の植生火災による影響	15. 森林火災時における保管場所及び屋外アクセスルートへの影響について 15.1 保管場所及び屋外アクセスルートと防火帯の位置について 15.2 保管場所に対する森林火災影響について 15.3 屋外アクセスルートに対する森林火災影響について	森林火災時における評価方針の相違（女川は計算方法等について記載）
18. 5号機東側保管場所の変更について 18.1 はじめに 18.2 変更内容 18.3 影響評価			柏崎固有の内容
19. 宿直棟位置の変更に伴う影響について 19.1 はじめに 19.2 変更内容 19.3 影響評価			柏崎固有の内容
20. 復水移送ポンプ廻りの手動弁の電動弁化に伴う屋内アクセスルートの変更について			柏崎固有の内容
21. 主要変圧器の火災発生防止対策について 21.1 概要 21.2 火災発生防止対策について		19. 主要変圧器の火災発生防止対策について 19.1 概要 19.2 火災発生防止対策について	
		16. 第4保管エリア及び屋外アクセスルートの変更について 16.1 はじめに 16.2 変更内容 16.3 設置変更許可への影響評価方法 16.4 設置許可基準規則及び技術基準規則の適合性への影響 16.5 設置変更許可申請書記載内容への影響 16.6 まとめ	女川固有の内容

赤字：設備、運用又は体制の相違点（設計方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）
 ■■■■：前回提出時からの変更箇所

先行審査プラントの記載との比較表（補足-200-14 可搬型重大事故等対処設備の保管場所及びアクセスルートについて）

柏崎刈羽原子力発電所第7号機	《参考》東海第二発電所	女川原子力発電所第2号機	備考
		17. 第3保管エリアの変更について 17.1 はじめに 17.2 変更内容 17.3 設置変更許可への影響評価方法 17.4 設置許可基準規則及び技術基準規則の適合性への影響 17.5 設置変更許可申請書記載内容への影響 17.6 まとめ	女川固有の内容
		18. 屋外タンク等からの溢水影響評価について 18.1 はじめに 18.2 屋外に設置されるタンク 18.3 屋外タンク溢水評価モデルの設定 18.4 評価結果	女川固有の内容
	15. 盛土（改良土）の仕様について 15.1 盛土（改良土）の設計方針について 15.2 盛土（改良土）の設計仕様		
	17 原子炉建屋付属棟（鉄骨造部）の波及的影響について 17.1 概要 17.2 基本方針 17.3 評価方法 17.3.1 評価対象部位及び評価方針 17.3.2 荷重及び荷重の組合せ 17.3.3 許容限界 17.3.4 評価方法 17.4 評価結果		

赤字：設備、運用又は体制の相違点（設計方針の相違）

緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

：前回提出時からの変更箇所

2021年7月27日

02-補-E-01-0009_改1

先行審査プラントの記載との比較表（補足-200-14 可搬型重大事故等対処設備の保管場所及びアクセスルートについて）

柏崎刈羽原子力発電所第7号機	《参考》東海第二発電所	女川原子力発電所第2号機	備考
	18. 廃棄物処理建屋固体廃棄物搬出入設備の波及的影響について 18.1 概要 18.2 基本方針 18.3 評価方法 18.3.1 評価対象部位及び評価方針 18.3.2 荷重及び荷重の組合せ 18.3.3 許容限界 18.3.4 評価方法 18.4 評価結果		